



週刊穀物



世界の穀物情報がここに凝縮されています。
毎週水曜日夕方発行

トウモロコシ、大豆ともに小幅続落

発行日 : 2020/6/24



15日のシカゴトウモロコシ7月限は▲0.25セントの329.00セント。前日取引終了後に米農務省が発表した作況報告は、「優」「良」の占める割合が71%となり、前週の75%から悪化したことで買いが先行し、一時334.50セントと6月8日以来の高値まで上昇した。ただ、今後の米中西部の降雨予報で作柄が改善するとの見方や、平年よりも良好な作柄に変わりないことも意識され、一転して売りが優勢になった。小麦価格の下落に圧迫され連れ安となったほか、高値圏では利益確定の売りもでていたようだ。

シカゴ大豆7月限は▲2.00セントの867.00セント。前日取引終了後に米農務省が発表した作況報告は、「優」「良」の占める割合が前週の72%を維持したことで、コーンに比べて順調な生育が続いていることから売りが優勢となった。作付け、発芽も引き続き平年を上回るペースで進行していることも重しとなった。米農務省は、民間輸出業者が2020~21年度渡しとして39万トンの米国産大豆大口成約を明らかにしたことで、下げ幅は限定的なものとなったが、反応は薄かった。

6月14日~21日の週の米国の天候 by Weekly Weather and Crop Bulletin of USDA

中西部から東は土壌水分は十分

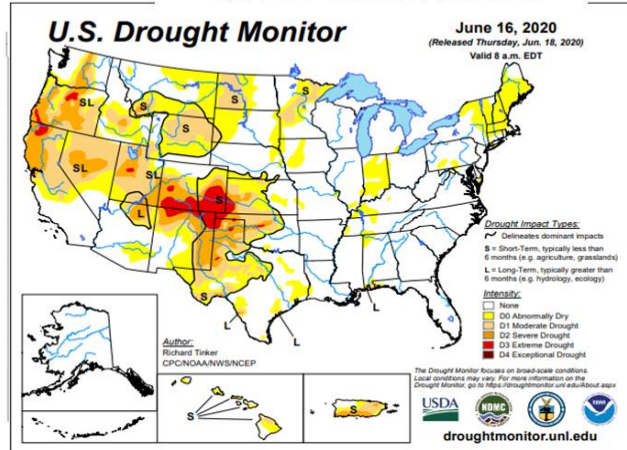
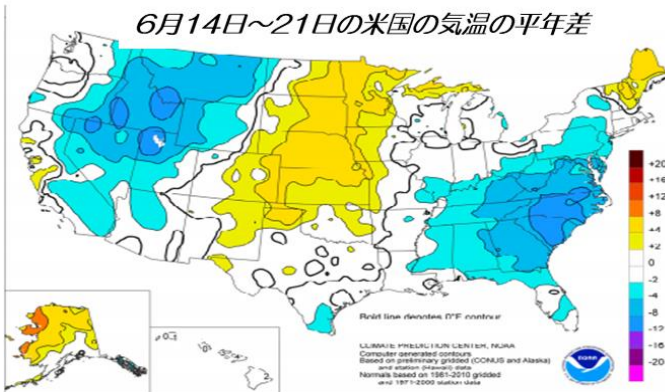
米国中部は、暑い天候の期間が続くと共に、降雨量も増加した。降雨は中央と南部の平野で冬の小麦の収穫に支障を生じさせたが、大半の牧草地、および夏の作物は、表土の水分が増加し恩恵を受けた。

一方、中部大西洋と北西部で異常に多い降水量があった。米国北東部のバージニア州とノースカロライナ州の一部では局所的に100ミリを越す降雨となった。ノーザンロッキー山脈では頂上を降雪が覆った。

それに対して 東部トウモロコシベルト及び、北東部から伸びる領域、またカリフォルニア州から南西部にかけては乾燥した天候となりほとんど降雨は無かった。



6月14日~21日の干ばつモニター



6月14日のニューヨークの最低気温は1℃、NY州Binghamtonがこの時期に4℃以下になったのは1958年6月以降のこと。ミシガン州でもマイナス1℃を記録した。

一方米国中部のネブラスカ州では6月16日の最高気温は38℃まで上昇、熱波は米国東部のメイン州にも到来し33℃~35℃を記録。6月17日には中西部も暑くなり、カナダに隣接する米国中部のノースダコタ州では1944年6月29日および1977年5月22日以来の38℃を記録している。季節はずれの熱波は中西部の北部にも多い、北東部メイン州に及んだ。

Crop Progress

トウモロコシ				18州
Silking	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	1%	2%	2%	

トウモロコシ						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
5月24日	1%	4%	25%	58%	12%	70%
5月31日	1%	3%	21%	60%	15%	75%
6月7日	1%	3%	21%	60%	15%	75%
6月14日	1%	4%	24%	56%	15%	71%
6月21日	1%	4%	24%	56%	15%	71%
前年度	3%	9%	32%	48%	8%	56%

大豆				18州
Planted (作付)	前年度	2020年度	過去5年平均	
4月19日	1%	2%	1%	
4月26日	2%	8%	4%	
5月3日	5%	23%	11%	
5月10日	8%	38%	23%	
5月17日	16%	53%	38%	
5月24日	26%	65%	55%	
5月31日	36%	75%	68%	
6月7日	54%	86%	79%	
6月14日	72%	93%	88%	
6月21日	83%	96%	93%	

大豆				18州
Emerged (発芽)	前年度	2020年度	過去5年平均	
5月10日	1%	7%	4%	
5月17日	4%	18%	12%	
5月24日	9%	35%	27%	
5月31日	17%	52%	44%	
6月7日	30%	67%	61%	
6月14日	49%	81%	75%	
6月21日	66%	89%	85%	

大豆				18州
Blooming	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	1%	5%	5%	

大豆						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月21日	1%	4%	25%	58%	12%	70%



冬小麦						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
4月5日	2%	7%	29%	53%	9%	62%
4月19日	4%	9%	30%	50%	7%	57%
4月26日	4%	11%	31%	47%	7%	54%
5月3日	4%	10%	31%	48%	7%	55%
5月10日	5%	11%	31%	45%	8%	53%
5月17日	5%	11%	32%	44%	8%	52%
5月24日	5%	11%	30%	46%	8%	54%
5月31日	5%	11%	30%	46%	8%	54%
6月7日	7%	12%	30%	42%	9%	51%
6月14日	7%	12%	31%	41%	9%	50%
6月21日	5%	12%	31%	43%	9%	52%
前年度	3%	8%	28%	46%	15%	61%

冬小麦			18州
Headed	前年度	2020年度	過去5年平均
4月12日	5%	6%	7%
4月19日	8%	14%	15%
4月26日	16%	21%	25%
5月3日	26%	32%	38%
5月10日	38%	44%	50%
5月17日	51%	56%	62%
5月24日	63%	68%	72%
5月31日	73%	77%	81%
6月7日	81%	85%	88%
6月14日	87%	91%	94%
6月21日	93%	96%	97%

春小麦				18州
Planted (作付)	前年度	2020年度	過去5年平均	
4月12日	2%	5%	9%	
4月19日	4%	7%	18%	
4月26日	11%	14%	29%	
5月3日	19%	29%	43%	
5月10日	38%	42%	63%	
5月17日	63%	60%	80%	
5月24日	80%	81%	80%	
5月31日	90%	91%	96%	
6月7日	96%	97%	99%	

春小麦				18州
Emerged (発芽)	前年度	2020年度	過去5年平均	
4月26日	4%	4%	7%	
5月3日	4%	6%	16%	
5月10日	8%	16%	29%	
5月17日	21%	30%	46%	
5月24日	41%	51%	65%	
5月31日	63%	67%	80%	
6月7日	80%	81%	91%	
6月14日	92%	95%	97%	

冬小麦				18州
Harvested	前年度	2020年度	過去5年平均	
5月31日	1%	3%	2%	
6月7日	3%	7%	7%	
6月14日	7%	15%	15%	
6月21日	13%	29%	26%	

春小麦				18州
Headed	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	6%	12%	22%	

春小麦						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月7日	0%	1%	17%	72%	10%	82%
6月14日	0%	2%	17%	73%	8%	81%
6月21日	1%	3%	21%	68%	7%	75%
前年度	0%	3%	22%	67%	8%	75%

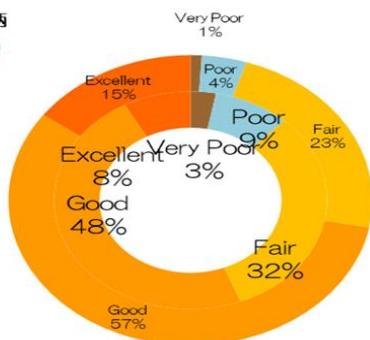
6月21日までの週のトウモロコシのSilkingは2%完了（前年は1%、過去5年平均は2%）作柄は優と良が前週と同じ71%で前年の59%を上回り良好だと言える。

6月21日までの週の大豆の作付は96%完了（前年は83%、過去5年平均は93%）発芽は89%（前年は66%、過去5年平均は85%）生育は順調と言える。作柄は優と良が72%ある。

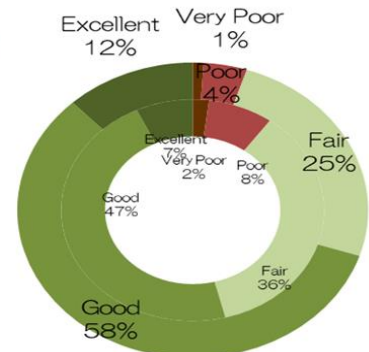
6月21日までの週の冬小麦の収穫は15%完了（前年は7%、過去5年平均は15%）作柄は、優と良が52%（前年は61%）で冬小麦の出来は悪い。

6月21日までの週の春小麦の作付けは97%完了（前年は96%、過去5年平均は99%）発芽は95%完了（前年は92%、過去5年平均は97%）Headedは12%完了（前年は6%、過去5年平均は22%）作柄は優と良が75%。（前年は75%）

トウモロコシの作柄
(6月21日)
外側は2020年
内側は2019年



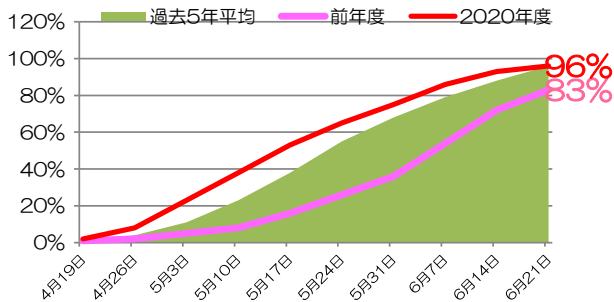
大豆の作柄
(6月21日)
外側は2020年
内側が2019年





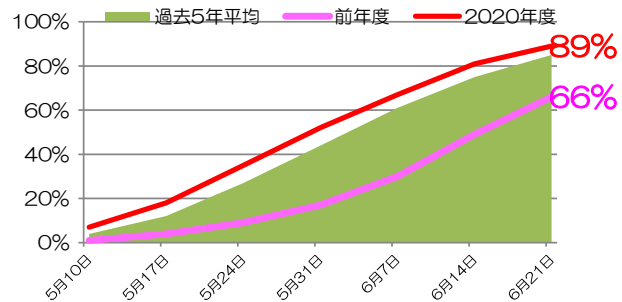
6月21日までのまでの

20/21年度産大豆の 作付 進捗状況

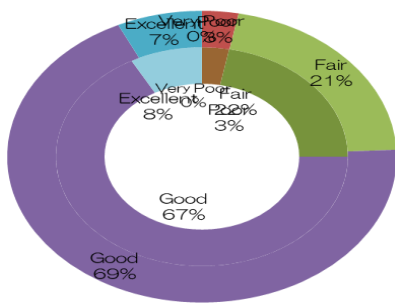


6月21日までのまでの

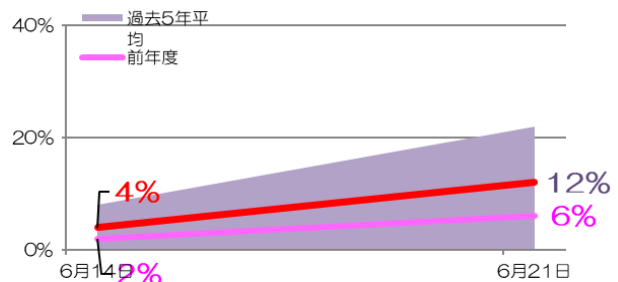
20/21年度産大豆の 発芽 進捗状況



2020年6月21日春小麦の作柄 (内側前年度：外側今年度)



6月21日まで20/21年度米国産 春小麦のHeaded進捗状況



ブラジルの新型コロナウィルスの農業に対する影響 by USDA Gain Report 6月11日

概要

新型コロナウィルスが蔓延してブラジル経済は大きな影響を受けている。農業分野も例外ではない。ブラジルリアルは大きく値下がりし、農産物の輸出には有利になっている。その一方で輸入物価は値上がりしているため、輸入肥料等の輸入商品の購入が減り、国産品の農業用商品が売れている。ブラジルの農業は、政府と協力して、輸出を増やすために初期の輸送の支障を克服し、同時に内部供給を維持した。今のところ食糧不足やサプライチェーンの混乱は見られないが、ブラジルの人口の一部のセグメントは食糧不安が拡大している。全体として、ブラジルの農業部門は、新型コロナウィルスの影響をさほど受けていないと言えるようだ。

農産物輸出が記録的な増加に、一方輸入は減少

ブラジル経済は、COVID-19パンデミックの広範な影響を受け揺らいでいるが、同国の農業部門のほとんどは問題なく、新しい市場を開き、ここ数ヶ月で記録的な輸出を達成している。ブラジルの国内総生産（GDP）は今年は少なくとも▲7%縮小すると予測されているが、農業部門は+3%も成長すると予想されている。農業部門は、COVID-19パンデミックのために出現した国際的な市場機会を利用しており、他の国々がパンデミックによる生産の混乱に直面し、国内供給を確保するための輸出管理を強化している時期に、外国市場に様々な製品を供給している。政府の意思決定者と協力して働くブラジルの農業は、初期の輸送のハードルを克服し、一部の商品の輸出を押し上げ、パンデミックの最中に記録的な水準を達成すると同時に、ブラジル人が食料品店で食品購入を増やした時にも、国内供給量を確保している。

経済が縮小する中で、農業部門は成長すると予想されている

農業は、狭く定義された場合は、ブラジルのGDPの約4.5%、または加工食品や飲料、林業由来の製品、農業サービスを含む統合された農業産業を考えると、20%以上を占めている。COVID-19パンデミックは、サービスおよび産業部門の全体的な経済収縮と急激な後退につながっているが、ブラジル中央銀行による80社以上の金融サービス企業に対する調査によると、やや楽観的ではあるが、2020年の狭く定義された農業部門の成長率は+約2%と見ている。経済省応用経済分析研究所（IPEA）によると、農業部門は+2.5%成長すると予測し、また、農業省の国家供給会社（CONAB）は2020年の農業分野の成長率を+2.3%と見積もっている。一部の民間部門のアナリストは、今年の同セクターの成長率を+3%と高く予想している。



経済が縮小する中で、農業部門は成長すると予想されている

農業は、狭く定義された場合は、ブラジルのGDPの約4.5%、または加工食品や飲料、林業由来の製品、農業サービスを含む統合された農業産業を考えると、20%以上を占めている。COVID-19パンデミックは、サービスおよび産業部門の全体的な経済収縮と急激な後退につながっているが、ブラジル中央銀行による80社以上の金融サービス企業に対する調査によると、やや楽観的ではあるが、2020年の狭く定義された農業部門の成長率は+約2%と見ている。経済省応用経済分析研究所（IPEA）によると、農業部門は+2.5%成長すると予測し、また、農業省の国家供給会社（CONAB）は2020年の農業分野の成長率を+2.3%と見積もっている。一部の民間部門のアナリストは、今年と同セクターの成長率を+3%と高く予想している。

成長率は農業部門によって異なるが、

2020年の成長予測は農業部門によって大きく異なる。しかし、全体的な良好な見通しは、記録的な穀物と油糧種子作物と米ドル(USD)に対する通貨切り下げによって押し上げられ、輸出ブームを促し、その結果、これらの作物の生産者のリアル建て収益を押し上げている。大豆だけでも農業総生産の26%を占め、他の穀物が8.2%を占め、総農業GDPの3分の1以上を占める。

成長率は農業部門によって異なる

2020年の成長予測は農業部門によって大きく異なる。しかし、全体的な良好な見通しは、記録的な穀物と油糧種子作物と米ドル(USD)に対する通貨切り下げによって押し上げられ、輸出ブームを促し、その結果、これらの作物の生産者のリアル建て収益を押し上げている。大豆だけでも農業総生産の26%を占め、トウモロコシは6.1%を占めている。

食料不足はないが、数百万人の低所得者層にとっては、食料不安がある。

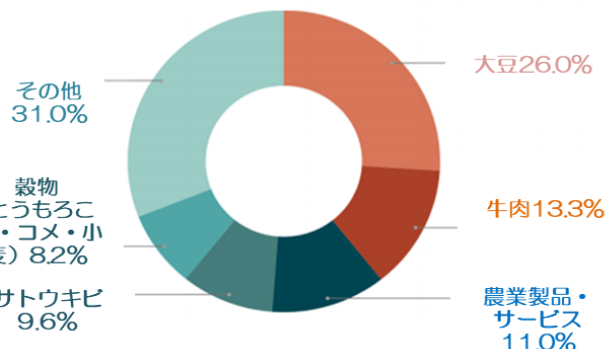
5月7日、ブラジルのパウロ・ゲデス経済大臣は、新型コロナウイルス警戒措置で、ソーシャルディスタンス措置が60日以上継続された場合は、食糧不足が生じると警告を発し、注目を引いた。しかし、テレザ・クリスティーナ農業大臣とブラジル食品産業協会（Abia）のジョアン・ドルネラス会長は、食品サプライチェーンをモニターしているが、そうした問題はないと述べた。USDAの調査でも、サプライチェーンにおいて混乱を確認できなかった。大豆のように、作物の中には、2020年に記録的な収穫があったものもある。ブラジルの気候や季節により、地方政府や州政府がソーシャルディスタンスを採る措置を制定する前に、多くの主要作物がすでに作付けされ、一分は収穫されている。消費者段階では、全国の食料品店に十分な在庫があり、ブラジルの新聞は、どの地域でも深刻または持続的な混乱はなかったと報告している。

ブラジルの農業サプライチェーンの構造は、パンデミックの潜在的な影響を最小限に抑えるのにも役立っています。例えば、ブラジルは非常に大きな動物性タンパク質処理部門を持っていますが、食肉処理場は全国に分散する傾向があるため、1つの地域での集中した流行は特に問題ではありません。さらに、米国と比較して、ブラジルはより小さな食肉処理場を持っているので、リオグランデ・ド・スル州とサンタカタリーナ州の南部の州でそうであったように、いくつかの加工工場の閉鎖は、食肉製品の全体的な供給に比較的影響を与えません。それどころか、ブラジルは2020年上半期に豚肉、家禽、牛肉の前年比輸出を拡大し続けています。

2020年6月4日			
ブラジルの2020年度農業経済成長率予測			
予測機関	IBGE	CONAB	シェア
農業経済成長率	+2.50%	+2.30%	100%
穀物	+3.10%	+2.90%	67.3%
もち米	+3.50%	+3.90%	1.3%
トウモロコシ	▲3.40%	+2.30%	6.1%
小麦とその穀類	+19.40%	+5.40%	0.8%
サトウキビ	+0.50%	▲1.90%	9.6%
大豆	+6.70%	+4.60%	26.0%
その他製品とサービス	▲1.80%	▲0.40%	11.9%
マニオク（キャッサバ）	▲1.10%	▲1.10%	1.6%
タバコ	▲7.80%	▲7.80%	1.2%
綿花とその綿糸	▲2.00%	+3.60%	2.7%
オレンジ	+4.30%	+4.40%	4.4%
コーヒー豆	+15.50%	+15.90%	4.1%
予測機関	IPEA・USDA	シェア	
家畜及び鶏肉	+1.5%	+25.7%	
牛肉	+0.3%	+13.3%	
牛乳	+2.2%	+5.2%	
豚肉	+5.0%	+1.6%	
鶏肉	+2.5%	+3.0%	
鶏卵	+3.5%	+2.6%	
その他	▲0.6%	+6.9%	
木材製品	▲1.2%	+4.3%	
漁業	+0.5%	+2.7%	

Ministry of Economy's Institute of Applied Economic Analysis (IPEA)
 IBGE=Brazilian Institute of Geography and Statistics
 CONAB=the Government's Food Supply Company

農業GDPに占める割合





パンデミックを抑制する動き

ブラジルの農業サプライチェーンの構造は、パンデミックの潜在的な影響を最小限に抑えるのにも役立っている。例えば、ブラジルは非常に大きな動物性タンパク質処理部門を持っているが、食肉処理場は全国に分散しているため、1つの地域での集中した流行は特に問題にはならない。さらに、ブラジル食肉処理場は米国と比較して小さいので、リオグランデ・ド・スル州とサンタカタリーナ州の南部の州でそうであったように、いくつかの加工工場の閉鎖は、食肉製品の全体的な供給に比較的影響を与えなかった。それどころか、ブラジルは2020年上半年に豚肉、家禽、牛肉の前年比輸出を拡大し続けている。

食料品価格は値上がったが一時的と見られて

輸出市場からの根強い需要と、消費者による通常よりも大きな一括買いにより、発生の初期の段階では、ブラジルの食料価格は上昇した。分析によるブラジル地理統計研究所（IBGE）の調査によれば、食料品は、今年の1月～4月の物価上昇率で上がった唯一のカテゴリーだった。4月の消費者物価上昇率は▲0.31%下落したが、食品・飲料の価格上昇率は+1.79%であった。5月中旬にはる食品・飲料カテゴリーの製品のインフレ率は+5.47%になっている。しかし一部のアナリストは、食品価格の上昇は、最初のパンデミックの蔓延期の価格上昇であり、買い溜めは沈静化し、サプライチェーンは流通しているため、今後数週間で正常化すると予測している。

低所得者層に食料不安がある

ブラジルでは食糧不足やサプライチェーンの混乱をまだ経験していないが、ブラジルの人口構成の中では、COVID-19パンデミックの結果として食糧不安が芽生えている人々もいる。約3,800万人の非公式労働者を含む低所得のブラジル人が最も多くパンデミックによる景気後退の影響を受けている。ソーシャルディスタンス政策により、多くの人々が失業した。彼らは失業対策としての貯蓄や借入能力がない。多くの低所得者及びその家族はパンデミック開始以来、慢性的な食糧不安に直面しており、非政府組織からの寄付や政府のわずかな支援に頼っている。

低所得者層に食料不安がある

4月、ブラジル政府は、失業した非公式労働者に対して毎月3回の現金支払いR\$600（約120米ドル）を承認し、これらの労働者にさらに2～3回の小さな資金を支払うべくプログラムを延長する可能性がある。連邦政府はまた、家族経営の農場から製品を購入するプログラムに約1億米ドルを割り当てた。これらの農場は、新型コロナウイルスの影響で市場が閉鎖し、また、レストランが閉鎖された。家族農業協同組合事務局（Secretariat of Family Agriculture and Cooperatives SAF）によると、12,500の団体と1,100万人の社会的に脆弱な家族に加えて、約85,000人の家族農家が恩恵を受けるはずだ。しかし、わずか6年前に国連の世界食糧計画飢餓マップからはずされた国のパンデミックの広範囲に及び結果を、こうした措置が緩和するかは確実ではない。

十分な供給と弱いブラジルレアルが、農産物輸出に火を付

記録的な収穫とブラジルレアルの切り下げによりブラジルの農産物輸出は急増している。ブラジルレアルはこの3週間は少し強くなっているが、今年の初めから5月中旬までに▲32%減価した。その結果、ブラジルの農産物や製品は、世界中向けに輸出が燃え上がっている。2020年1月から5月まで、ブラジルの輸出額トップ10のうち7件は農産物で、大豆がトップである。

貿易事務局（Foreign Trade Secretariat : SECEX）によると、農業輸出は360億米ドルに増加した。2020年1月と5月は、2019年の同時期と比較して15%近く急増している。絶対値では、レアル建てによる手取り額は3分の1増加した。また大豆の輸出ブームは後押ししている。大豆の輸出額は160億米ドルを超え、大豆は2位の輸出額を持つ冷凍牛肉の25億ドルの8倍近くとなっている。牛肉、豚肉、砂糖、および綿花も大幅に増加しており、冷凍豚肉の売上は前年比+60%増加している。2020年の最初の5ヶ月、中国は主要な買い手であり、ブラジルの農産物の42%を占めている。2020年の輸出額は、大豆、牛肉、豚肉の輸出額が半分以上を占めている。

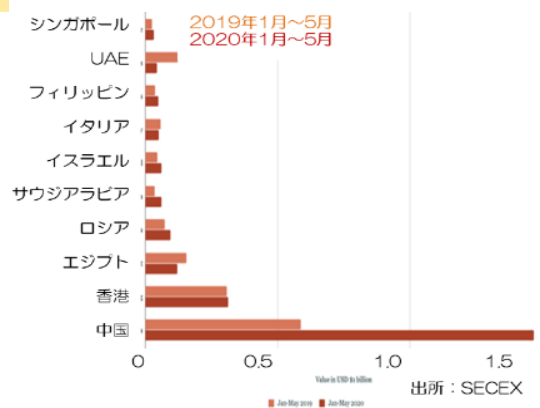
ブラジルの2020年1月～5月の輸出額				内中国向	
	2019年	2020年	増加率%	2019年	2020年
農産物輸出総額	\$31,419,508,749	\$36,093,224,657	+14.9%	34.6%	41.8%
大豆	\$12,369,712,175	\$16,335,182,076	+32.1%	72.9%	72.8%
冷凍牛肉	\$1,822,098,356	\$2,495,340,827	+37.0%	32.2%	58.8%
大豆粕	\$2,387,971,155	\$2,334,378,103	▲2.2%	0.0%	0.1%
粗糖	\$1,483,652,885	\$2,079,908,323	+40.2%	8.0%	9.0%
コーヒー豆	\$1,956,163,719	\$1,983,550,788	+1.4%	0.7%	0.4%
冷凍チキン	\$1,883,222,415	\$1,855,516,834	▲1.5%	23.7%	31.1%
綿花	\$800,250,539	\$1,221,167,256	+52.6%	25.3%	25.9%
冷凍豚肉	\$503,381,451	\$801,898,236	+56.3%	30.5%	58.2%
冷凍鶏肉	\$627,489,496	\$598,440,950	▲4.6%	0.0%	0.2%
タバコ	\$775,062,875	\$461,444,331	▲40.5%	17.6%	0.2%
			出所： Secex		



中国向けが最大のシェアを拡大中

中国がブラジルの農業輸出の大きなシェアをますます占めているという事実は、ブラジルの農業・家畜・食糧供給省（Ministry of Agriculture, Livestock, and Food Supply : MAPA）では失われていない。新聞報道によるとMAPAは、ブラジルの農業に及ぼす影響を評価するために中国の状況を監視しているという。中国のブラジル大使館の農業担当館員は、予想される新しい旅行の一時的なキャンセルの波は、貨物輸送能力の減少と輸送費の値上がりは、中国や世界の他の国々が経済を回復し始めた場合でも、影響は残ると予測している。メディアはまた、ブラジル政府がブラジルの輸出に有利なアクセス条件を確保するための包括的な貿易協定を中国、韓国、日本、ベトナムなどと締結する戦略を描いているという。

ブラジルの冷凍牛肉輸出向け先別売上高（十億ドル）



新型コロナの影響に対する農業補助制度

ブラジル政府、特にMAPAは、農産物の生産と流れは安定させるために多くの政策を探っている。ブラジル政府は、農業部門、特に農村生産者が新型コロナウイルスの影響やブラジル南部での干ばつから受ける影響を最小限に抑えるように財政パッケージをまとめている。パッケージには、債務再編支援、保管施設に対する最大6,500万レアルの資金援助、および低金利農村信用の金利（家族農家の場合は6%、他の人は8%）。小規模の貸し付けを中規模の生産者、特に乳製品、花、農産物、養殖などの大きな打撃を受けた生産者に対しファミリーファームプログラムの下で特別なクレジットラインの対象としている。プログラムは、小規模生産者は4.6%、中規模生産者は6%の金利補填をしている。また、3年間の支払い猶予期間がある。借入限度額は、小さい場合はR\$20,000（約4千ドル）。中規模の生産者向けは\$40,000（8千ドル）追加の資金援助は、7月1日に発効する次のブラジルの農場法案「プラン・サフラ」による可能性が高い。

新型コロナウイルス危機委員会設立

農務省はまた、COVID-19危機委員会を設立し、パンデミックが農業生産と食糧供給に及ぼす影響を最小限に抑えるための戦略委員会とし、MAPA大臣に直接報告する。委員会はMAPAの事務局の14人のメンバーによって形成され、CONABとブラジル農業調査会社（EMBRAPA）に加えて、グループはスーパーマーケットや流通ネットワークを含む小売業の監視を担当。農業倉庫、輸送、小売業者、市場、農業や殺虫剤、流通ネットワーク、動物飼料流通ネットワークをモニタリングする。このモニタリングに基づいて、委員会は短期的、中長期的な構造調整を策定する。

新型コロナウイルス対策法

3月にブラジルを襲ったパンデミック発生から2週間目に、MAPAはすべての農産物、肥料等の投入、サービス、および活動に関する基本的な法定を発令した。法令は、次のような活動をカバーした：貨物の輸送、生産、燃料流通、マーケティング、保管、商品の配布、農産物加工チェーン、植物栽培に必要なサプライチェーン、2020/2021年度の作物の準備、及び食糧の供給。同時に、国土交通庁（ANTT）も食品・農産物の加工、輸送など代理店は、トラック運転手が輸送を維持するためのより柔軟にできるように緊急規制の変更の数や、運転免許証と車両の更新を最長120日間延期するなど、業務登録やトラック事故を当局に報告する期限を24時間に延長した。鉄道業務および鉄道技術者のライセンスの更新も120日に延期された。

輸送ネットワークは政府や民間団体から支援

パンデミックの初期には、多数のトラックの停車場、ガソリンスタンド、沿道のレストランが地方自治体の指導により、閉鎖した。軽トラックの中には依然配送を続けた業者もいた。また輸出向けの農産物を輸送するトラックは、引き続き稼働した。ブラジル大豆クラッシャー協会、ABIOVEは、主要な高速道路に沿ってトラック運転手にスナックキットを配布することとした。キットは協会のメンバーにより70カ所で配られた。



輸出港での検査

様々な輸出港でCOVID-19テストで陽性反応が出た労働者が散発的に報告されたが、ブラジルの港のターミナルで伝染は広くは及んではない。穀物輸出業者協会（National Association of Cereal Exporters（ANEC））によれば、ブラジルの港は正常に動作しているという。また、ブラジルの水運送庁（Water Transportation Agency：ANTAQ）は、ほとんどの港が最初の4ヵ月前年同期より多くのバルク貨物を扱ったという。ラテンアメリカで最大の輸出拠点であるサントス港では、ターミナルでは厳格Social Distance措置を実施している。ポートマネージャーも作業員の欠勤の場合派遣社員を補充して業務が滞らないように取り組んでいる。また、到着した船舶の乗組員からコロナウィルスが上陸しないように、乗組員検査で陽性だった場合は船は隔離されている。5月中旬の時点で、サントス港では船の乗組員17人が医療措置を必要とし、その内13人が陽性だったと報告している。

サントス港4月に過去最大の処理量

ブラジル全土に急速に広がるCOVID-19パンデミックにもかかわらず、サントス港は4月に1,340万トンの貨物を処理し2019年10月の処理量を+5%上回る記録を達成した。記録的な大豆輸出によって、金額も前年同月を+26.8%上回った。サントス港では4月に過去最高の460万トンの大豆を積み込み、前年比+68%増となった。4月の砂糖輸出は+24%増加し、110万トンとなった。420隻がサントスを通過し、前年比+9.7%増加した。

サントス港4月に過去最大の処理量

ブラジルは3ヶ月連続で記録的な量の大豆を輸出した。ブラジル第2位の港であるパラナグア港では5月の大豆輸出は、前年の5月に比べて2倍以上あった。報道によると、港湾局長ルイス フェルナンド ガルシアは、コロナウィルスにもかかわらず、ブラジルレアル安も手伝い輸出が促進され、また乾燥した天候も後押しした。同局長はまた、港が労働者の健康をケアするための措置を実施したことを強調した。港湾統計によると、船に貨物を積み込むのにかかった時間は、パンデミック前の平均2.9日から2.2日に落ちた。同時に、処理量は801トン/時から1,138トン/時に跳ね上がった。2019年5月、パラナグア港のバースに22隻の船が停泊したが今年は、39隻に増加した。待ち時間が短縮され、バースの生産性が向上したためである。

今後の予想

現在までの米国のトウモロコシと大豆の生産は順調である。これからの2週間の天候が鍵となるが、先週の米国は寒い地域と暑い地域が混在し、中西部は暑い天候であった。このまま高温乾燥が続くかどうかカギとなるが、今のところは干ばつモニターでは中西部に異常は認められていない。一方、ブラジルでは南部で少し干ばつ気味となっているが、二期作目にそれほどの影響は聞こえていない。ブラジルは米国に次いで多くの新型コロナウィルス患者が出ており、低所得者層の住宅地域から感染者が毎日多数出ている。農産物やその輸送、港湾状況にはレポートを見る限り大きな影響は今のところ現れていないが、今後コロナが一層広がるとどうなるかわからない。天候もコロナもこれからの様子見である。

ご案内

You -Tubeで金や原油の動画解説中

毎週月曜日午後8時 Gold TV netにて金やプラチナ・原油の解説をYou Tubeの動画で近藤 雅世と小針秀夫が行っております。サイトは『Gold TV net』検索ください。 <https://gold-tv.net/>

日本経済新聞電子版で商品投資の解説を6月1日より毎月1回半年間解説

6月1日より毎月月初に2章ずつ合計8章の文章を掲載中です。サイトは日経電子版の『マーケット』の中の『商品』欄の右側にある『PR』欄の『一覧はこちら』から一番下にある『大阪取引所』の『商品取引入門』にあります。
https://ps.nikkei.co.jp/ose2020/index.html?n_cid=P_SDB0021



商品取引入門

第2章 商品取引の種類と世界的商品先物取引

2020年06月01日（月）



商品取引入門

第1章 商品取引の特徴

2020年06月01日（月）

大阪商品取引所の北浜投資塾で『金の基礎知識』の動画解説放映中

JPX日本取引所グループの『大阪取引所』の『北浜投資塾』の『先物・オプション』の『その他・すべての戦略動画はこちら』の中で『金の基礎知識』の動画を放映中です。

全部で12章ありますが、現在は右の6章のみ掲載中です。https://www.jpx.co.jp/ose-toshijuku/futures_option/list.html



掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMI」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMIが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMIは保証を行っておりません。また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMIに帰属し、事前にCOMMIへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMIが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMIは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMIおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
 会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
 メールアドレス: kondo@commi.cc